

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2025-05-10

なし

(発行年 / Year)

1910

第二節 代理

(理由) 凡ソ法律行為ハ其行為性質反セサル限、他人ヲレテ之ヲ爲サレムコトヲ得ルヲ以テ原則ト爲ササル可カラズ加之法律ハ或場合ニ於テ代理人ヲレテ本人ニ代リテ諸般法律行為ヲ爲サレムルヲ問ヘス常ニ一種ノ關係ヲ生ス本人ト代理人トノ關係及ビ第三者ト本人並ニ代理人トノ關係即チ是ナリ本案ニ於テハ獨逸民法草案ニ倣ヒ茲ニ主トシテ第三者ト本人及ビ代理人トノ關係付キ必要規定ヲ掲ケタリ是蓋シ一般ノ法律行為ニ缺クヘカラサル意思表示ノ規定ト密接ノ關係ヲ有スルモノナルヲ以テナリ但此第三者ト代理人トノ關係タルヲ素ト純然タル代理關係ニ非スト雖モ況ク代理關係ヲ解スルトキハ之ヲ以テ其一部トナスコトヲ得ヘシ是レ本節ニ於テ第三者ト本人トノ關係ヲ規定スルト同時ニ第三者ト代理人トノ關係ヲ併セテ規定シタル所以ナリ又委任ニ因ル代理ニ付テハ本人ト代理人トノ關係ハ委任契約ノ關係ニレテ代理關係ノ範圍内ノ屬セサルヲ以テ之ヲ第三編ニ譲リタリ但法律上ノ代理ハ其各種ノ代理人ニ付キ別段ノ定キ限ハ總テノ點ニ於テ本節ニ規定ス依ルヘキモノトス

既成法典ハ其財産取得編第十二章ニ於テ代理ト云ヘル標題ニテ委任者ト代理人トノ關係及ビ第三者ト委任者又ハ代理人トノ關係ヲ併セ規定シタリト雖モ其規定ニ十中八九ハ委任者ト代理人トノ契約ノ關係ニ屬シ彼ノ第三者ト本人又ハ代理人トノ關係ニ至リテハ之ヲ規定スル條項甚ダ不充分ナリトス既成法典ハ近世ノ學理ニ基キ實際ノ必要上リ一般ノ法律行為ニ付キ代理ヲ認メタルニ拘ラス尙也

此點ニ付權利法ノ舊套ヲ脱セサル如キ觀アルハ慣習ハキコト謂フヘシ今本案ニ於テ茲ニ代理ニ關スル規定ヲ揭グルモノハ主トシテ此缺點ヲ補ハシトスルノ主意ニ外ナラサルナリ

第百條

(理由) 本條ハ代理人カ代理行爲ヲ爲スニ必要ナル條件及其代理行爲ノ效力ヲ規定シタルノナリ所謂代理行爲ノ必要條件トハ代理人カ其代理權ノ範圍内ニ於テ法律行爲ヲ爲スコト及ヒ明示又ハ默示ニテ本人ニ代リ其行爲ヲ爲スノ意思ヲ表示スルコト即チ是レナリ而シテ此ニ條件ヲ具備シタル代理人ノ法律行爲ハ直接ニ本人ニ對シテ其效力ヲ生ズルモノハ之ニ因リテ權利ヲ得又ハ義務ヲ負フモノトス蓋シ代理人ハ單ニ本人ノ機具ニ非ズレテ自己ノ意思ヲ表示シ其意思表示ヲ直接ニ本人ノ利害ニ於テ其效力ヲ生ズルモノタルコトヲ示シタルナリ

第二項ハ第三者カ代理人ニ對シテ催告又ハ解約ノ通知ヲ如キ單獨行爲ヲ爲シタル場合ヲ規定シタルモノトス蓋シ此場合ニ於テハ直ニ第一項ノ規定ヲ適用スルコト能ハサルニ因リ獨ビ民法章條ノ例ニ倣ヒテ之ヲ置ケリ

第百一條

(理由) 本條ハ代理人カ法律行爲ヲ爲スニ當リテ本人ノ爲メニスル意思ヲ表示セシ又自己ノ爲メニスル意思ヲ有セサルヘキ場合ヲ規定シタルモノトス蓋シ此場合ニ於テハ眞實ノ意思ヲ表示セシテ現ニ表示セラレタル意思ハ眞實ノ意思ニ非ラサルヲ以テ一般ノ原則ニ依ルトキ其意思表示ハ何等ノ

效力ヲ生ズルモノナリ然レトモ代理人カ本人ノ爲メニスル意思ヲ表示スルコトヲ怠リタル場合ニ於テハ假令自己ノ爲メニスルノ意思ヲ有セザリシトモ離セ之ヲレテ其意思表示ヲ拘束ヲ受ケレタルコトハ眞實ニ於テ極メテ必要ナリトス之ヲ要スルニ本條ノ規定ハ前條ニ所謂本人ノ爲メニスルコトヲ示シテ意思表示ヲ爲スヘキ要件ニ背キタル制裁ナリトス若レ夫レ代理人カ本人ノ爲メニスル意思ヲ表示セシレテ爲レタル法律行爲ニ何等ノ效力ヲ附セサルトキハ第三者ハ之ヲ爲メニ不問ノ損害ヲ蒙ルニ至ルヘシ是レ即チ獨逸民法章條ノ例ニ倣ヒテ本條ヲ規定シタル所以ナリ

第百二條

(理由) 本條ハ財產取得權第二百二十四條ノ規定ニ字句ノ修正ヲ加ヘタルモノニ過キス原文ニハ口頭委任者ト代理人トノ關係ノミ付キ規定セリト雖モ此規定タル本人ト第三者トノ關係ニ於テモ亦適用スヘキモノトス蓋シ代理人ノ無能力者タルコトヲ妨ケサル所以ハ他ナレ其代理行爲ニ依リテ自己ノ損失ヲ受ケルコトナキヲ以テ無能力者ノ保護ヲ害スルコトナシ無能力者ト雖モ苟モ本人ニ於テ自己ノ代理人ト爲スニ足ルモノトセハ敢テ之ヲ禁スルノ必要ヲ見サルナリ但本案ニ於テ無能力者ト稱スル者ハ限定能力者ノ謂ニシテ其全ク意思能力ナキ者ニ付テハ固ヨリ本條ヲ適用スヘキニ非サルナリ

第百三條

(理由) 本案ニ於テハ代理人ハ自己ノ意思ヲ表示スルモノトスルノ主義ヲ採レリト雖モ第百條第一項ノ規定ハ未ダ此主義ヲ明ニスルニ足ラサルヲ以テ茲ニ本條第一項ノ規定ヲ設ケ以テ此主義ヲ生ズ

第二百九條

(理由) 凡ツ代理人ヲ本人ノ爲メニ代理ヲ爲スニ當リテハ忠實ヲ以テ其事ニ從ハサル可キラス今若シ代理人ヲ本人ニ代ハリテ自己ト法律行爲ヲ爲スコトヲ得ヘシトセハ本人ノ利益ト自己ノ利益ト抵觸スルノ結果ヲ生スルコトナレシトセ此場合ニ於テ代理人ハ本人ノ利益ヲ後ニシテ自己ノ利益ヲ先キニスルコトアルヲ免レサルヘシ然ルニ若レ之ニ責アルニ必キ本人ノ利益ヲ先キニスヘキコトヲ以テモハ是レ難キヲ人ニ責アルモノト謂ハサル可カラズ代理人ハ第三者ノ代理人トシテ法律行爲ヲ爲ス場合ニ於テモ亦殆ト同一ノ困難ヲ生共一方ノ本人ヲ利セントスルトキハ他ノ一方ノ本人ノ利益ヲ顧ルニ違アラサルコト多シトス故ニ本案ニ於テハ代理人ハ何レノ名義ヲ以テスルヲ問ヘス自己ト法律行爲ヲ爲スコトヲ得サルヲ以テ原則ト爲レタリ但第二項ノ場合ニ於テハ毫モ被害ノ之ニ伴フモノナキヲ以テ例外トシテ之ヲ許スコトニ定メタリ

第二百十條

(理由) 既成法典ニハ第三者ニ對スル意思表示ニ依リテ代理權ヲ授與スルコトヲ得ノ規定アルナレシレノ缺點ナリト信ス蓋シ吾人ハ第三者ニ對シテ或人ニ代理權ヲ授與スル意思表示シタルトキハ其人トノ間ニ委任契約ノ干係ナキニ拘ハラズ本條ニ定メタル效果ヲ生スルモノト爲スコト實際ニ於テ極メテ必要ナリトス是レ獨逸民法草案ニ載ヒテ本條ノ規定ヲ設ケタル所以ナリ

第二百十一條

(理由) 本條ハ財產取得編第二百五十條第二項ノ規定ヲ採用シタルモノナリ凡ツ代理人ハ權限外ノ行爲ヲ爲セタルトキハ其行爲ハ固ヨリ本人ニ對シテ何等ノ效力ヲ生セサルモノト假令第三者ニシテ善意ナルモ其一事ヲ以テハ未タ此原則ヲ覆スニ足ラサルナリ然リト雖モ若シ第三者善意ニシテ且ツ代理人ニ其行爲ヲ爲ス權限アリト信ス可キ正當ノ理由ヲ有スルトキハ契約取引ノ安全ヲ保持スル爲メ其代理人ノ爲セタル權限外ノ行爲ヲ有效ト爲スノ必要アリト是レ本條ノ規定ヲ置キタル所以ナリ但原文ノ善意云々ハ他ノ要件中ニ自ラ包含スルモノナルヲ以テ之ヲ削除シタリ

第二百十二條

(理由) 本條第一項ハ法律上ノ代理ト委任ニ因ル代理トニ通用スヘキ規則ナルヲ以テ此ニ之ヲ置ケリ其委任ニ因ル代理ニ特別ナル代理權消滅ノ原因ハ之ヲ第二編中委任ノ條下ニ於テ規定セシントス

第二百十三條

(理由) 本條ハ財產取得編第二百五十八條ニ依リタルモノニシテ第三者ヲ保護スル爲メ極メテ必要ナル規定ナリトス瑞西債務法及ヒ獨逸民法草案ニ依リテ代理權消滅ハ之ヲ第三者ノ通知スルニ非ラズスルハ其效ナキモノトアリ然リト雖モ此規定タル其通知ノ方法如何ニ依リ或ハ第三者ノ爲メニ不充分ナルヘク或ハ之ニ反シテ巨多ノ費用ヲ手取トヲ要シ煩瑣ナル弊アルヘシ故ニ本案ニ於テハ獨逸民法其他大半ノ立法例ニ倣ヒ代理權ノ前條ニ掲ケタル事由ニ依リテ當然消滅スルモノトシ只善意ニシテ且ツ過失ナキ第三者ニノミ之ヲ以テ對抗スルコトヲ得サルモノトセリ又獨逸民法草案ニ於テハ

本人カ代理人ニ委任狀ヲ交付シタル場合ニ於テ其委任狀ノ返還ヲ受ケサルカ又ハ裁判所ヲ其無効ヲ宣言セサル間ハ代理權ハ消滅セサルモノト爲スト雖モ是レ亦第二者ヲ保護セシメテ欲レテ却テ其適當ノ範圍ヲ出デ且場合ニ依リテハ極メテ不便ナル規定タルヲ免レス故ニ本案ニ於テハ此ノ如キ格別ナル場合ニ付キ規定スルノ方法ヲ採ラスレテ専ラ事實裁判官ノ認定ニ一任シタリ

第百十四條

(理由) 本條以下ハ全ク代理權ヲ有セス又ハ代理權ノ範圍ヲ超ヘテ爲シタル法律行為ノ效果ヲ規定シタルモノナリ本案ハ獨逸民法草案ニ倣ヒ先ツ契約ノ場合ト單獨行為ノ場合トヲ區別セテ代理權ヲ有セサル者ヲ契約ヲ爲シタル場合ニ於テハ其契約ハ本人ノ追認ナキ限ハ之ニ對シテ全ク其效力ヲ生セスト雖モ代理人ハ相手方ニ對シテ全ク其責ヲ免レシ相手方モ亦一定ノ範圍内ニ於テ拘束セラルルモノトス要スルニ此場合ニ於テハ代理權ヲ有セサル者ノ行為ハ何人ニ對シテモ無効ナルニ非スレテ一種ノ效力ヲ生スルモノナリ之ニ反シテ代理權ヲ有セサル者カ爲シタル單獨行為ハ其效力ナキヲ以テ原則ト爲レ只第百十九條ニ掲ケタル場合ニ限り契約ニ干スル本條以下ノ規定ヲ準用スヘキモノトセリ是他ナレ單獨行為ハ契約ニ異ナリテ全ク相手方ノ行為ニ非ス追認ニ因リテ其效力ヲ生スヘキモノトスルハ本人ノ爲メニハ利益ナルコト論ヲ俟タズ雖モ相手方ニ於テハ其行為ノ效力不確定ナル爲メ迷惑少ナレトセス尤モ本人ニ對シテ或期間内ニ確答ヲ爲スヘキ旨ヲ催告セシムルコトヲ得ザルニ非ズト雖モ斯ノ如キ煩勞ヲ取ツシムルハ理由ナキ點特ト謂ハサルヲ得ス唯其代理人ト稱スル者ノ代

理權ヲ有セスレテ單獨行為ヲ爲スコトニ同意シ又ハ其代理權ヲ爭ハサリシトキニ限り契約ニ干スル規定ヲ適用スルコトヲ得ヘキノ要スルニ代理權ナキ代理ヲ認ムルノ必要ハ主トシテ契約ニ付キ之ヲ見ルナリ

既成法典ニ於テハ代理人ノ權限外ニ爲シタル行為ニ付キ委任者ハ追認ニ因リテ其實ニ任スルコトノ外取二五〇二項第一土何等ノ規定ヲ設ケタルヲ見エ或ハ事務管理ニ干スル規定ヲ適用ニ依リ代理セラレタル者ノ利益ハ多ク場合ニ於テ保護セラルルコトヲ得ヘント雖モ全體上リ考ルトキハ不完全ヲ免レサル如シ是故ニ純然タル代理ノ規定ニ次キ本條以下ノ規定ヲ設ケタル所以ナリ

第百十五條

(理由) 本條ハ代理權ヲ有セサル者ト契約ヲ爲シタル相手方カ其契約ニ拘束セラルルコトヲ示シ共ニ其拘束ヲ免カルルノ方法ヲ定メタルモノトス蓋シ契約ノ雖モ相手方ヲシテ際限ナク之ニ拘束セラル可キモノトナストキハ權利關係ノ永ク確定セサル不都合ヲ生スヘキヲ以テ相手方ヲシテ相當ノ期間ヲ定メ其期間内ニ追認ヲ爲スヤ否ヤヲ確答スヘキ旨ヲ本人ニ催告スルコトヲ得セシメタリ而テ本人カ其期間内ニ確答ヲ爲ササルトキハ追認ヲ拒絕シタルモノト看做スヘキコト固ヨリ論ヲ俟タズル所ナリ獨逸民法草案ニ於テハ本人カ二週間内ニ確答ヲ爲ササルトキハ追認ヲ拒絕シタルモノト看做スノ規定ナリト雖モ斯ヲ法律ニ於テ一切場合ニ適用スヘキ期間ヲ定メシヨリ寧ろ獨逸債務法ニ倣ヒ相當ノ期間内ニ確答ヲ爲サシムルヲ以テ便利ト信シタリ

第百十六條

(理由) 代理權ヲ有セサル者ノ爲メタル契約ハ其相手方ニ對シテハ當然無効ニ非サルコト前一條ヲ規定ニ依リテ已ニ明ナリト雖モ相手方ニ於テ其代理人ト稱スル者ガ代理權ヲ有セサルコトヲ知リタル場合ト之ヲ知ラザリタル場合トニ依リテ其結果ヲ異ニスル所ナカルニカラス若シ相手方ガ代理權ノ欠缺ヲ知ラザリシトキハ之ヲ知ラザリタル場合ニ於テハ本人ノ追認ヲ照シテ契約ヲ爲シタルモノナルヲ以テ恰モ彼ノ代理權ノ欠缺ヲ知リタル場合ニ於テハ本人ノ追認ヲ照シテ契約ヲ爲シタルモノナルヲ以テ恰モ彼ノ未成年者ト契約ヲ爲シタルニ同シテ前條ノ規定ニ依リ本人ニ對シテ催告ヲ爲スコトヲ得ルノ外他ノ保護ヲ享テ可キモノニ非サルナリ

第百十七條

(理由) 本條ノ規定ハ既成法典ニハ之ケレト雖モ諸國ノ法律及學說ニ於テ殆ト一般ニ認ムル所ナリ然リト雖モ明文ナキトキハ或ハ疑ヲ生シ得ヘキト但書ヲ以テ其適用ヲ制限スルノ必要アルヲ以テ此ニ之ヲ置ケリ

第百十八條

(理由) 本條ハ代理權ヲ有セサル者カ他人ノ代理人トシテ契約ヲ爲シタル場合ニ於テ其相手方ニ對シテ責任ヲ定メタルモノナリ此場合ニ於テ若本人カ其契約ヲ追認スレハ代理人ニ責任アルコトヲ要セスト雖モ追認キトキハ相手方ニ對シテ代理權アリト信セシメタル過失ノ責任セサルニカラス本

條第一項ハ即チ其責任ノ何タルコトヲ示シタルモノニシテ代理人カ相手方ニ對シテ損害賠償ノ責任ヲ負フコトヲ付テハ諸國ノ法律其規定ヲ異ニセスト雖モ尙ホ相手方ノ選擇ニ從ヒテ履行ノ責任ニスヘキト否ヤニ付テハ立法例一定セス既成法典財產取得編第二百四十四條本文ハ即チ本條第一項ノ場合ヲ規定シタルモノニシテ此規定ニ依ルトキハ代理人ハ單ニ損害賠償ノ責任ヲ負フモノナラヤ又ハ履行ノ責任ヲモ負擔スルモノナルヤニ付テ額額明略缺ケリ然レト草案註釋書ニ就キ考

ルトキハ單ニ賠償ノ責任ヲ規定シタルモノノ如ク佛蘭西荷蘭伊太利モシテキロロ、西班牙諸國ノ民法及ヒ印度契約法等ニ於テモ亦此主義ヲ採リテ商法第三百四十三條ハ代理ノ通則トシテ本條ノ場合ヲ規定シタルト雖モ其規定甚ダ簡ニシテ草案說明書三九〇ニ依ルモ本論ニ付キ其何レニ決セント欲シタルヤヲ確知スルニ苦ムナリ察スルニ民法ト同一ノ精神ナラン然リト雖モ同法第四十九條ハ代務人ニ付キ本條第一項ト同一ノ規定ヲ掲ケテ是レ獨逸商法ノ規定ニ倣ヒタルモノナリ獨逸民法草案ニ於テハ代理ノ通則トシテ本條第一項ノ場合ニ履行又ハ賠償ノ責任アルコトヲ規定セリ是レ取引ノ安全ヲ維持スルニ適當ノ規定ト認ムルヲ以テ此ニ之ヲ採用セリ

第二項ノ規定ハ第百十六條ノ規定ト相應シテ相手方ノ權利ヲ定メタルモノナリト雖モ其條件ニ付テハ少シク相異ナル所アリ第百十六條ニ於テハ相手方ガ代理權ノ欠缺ヲ知リタル場合ト過失ニ因リテ之ヲ知ラザリタル場合ト同一ノ視セキ其過失ニ因リテ之ヲ知ラザリタル場合ニ於テハ其取消權ヲ有スルモノトセリ抑モ相手方ガ代理權ナキコトヲ知リテ契約ヲ爲シタル場合ニ於テハ本人ノ追認ヲ期望シ

タルモノナルヲ以テ限リニ之ヲ取消スルヲ得セシム可カラスト雖モ過失ニ因リテ其實ヲ知ラザリシ場合ニ於テハ同一ノ斷定ヲ下スコトヲ得ス理論上ヨリ觀察スレハ其契約タル當事者ナキノ故ヲ以テ本來無効ノモノトス然ルニ法律上當然之ヲ無効トセサル所以ハ唯相手方ノ所爲ヲ責ムル趣意ニアラスレテ寧ロ本人及ヒ相手方双方ノ爲メニ便利ナルベキカ故ナリ果シテ然ラハ其取消權ノ範圍ハ特別ノ理由ナキ限ハ妄リニ之ヲ制限セサルヲ當然トス代理權ナキヲ知ラザリシコトニ付テマテ相手方ノ不注意ヲ責ムルノ理由ヲ見サルナリ之ニ反シテ本條ノ場合ニ於テハ元自己ノ爲メニ契約ヲ爲スノ意思ナキ者ノ責任ヲ定メタルモノニシテ其代理人ト稱スル者ハ或ハ好意ヲ以テ之ヲ爲レタルヤ知ルベカラス然ルニ其一方ノ事情ハ毫毛顧ル所ナク相手方ヲ相當ノ注意ヲ用ユレハ知ルコトヲ得ヘキ代理權ノ欠缺ニ付テマテ之ニ對シテ其責任ニ付セサルモノトスルハ少シク酷ニ過タルモノト謂ハサルヲ得ス假令ヒ其場合ニ於テ代理人ニ對シテハ權利ナキモノトスルモ善惡ナル故ヲ以テ前條ノ保護ヲ享有スヘク又常ニ第二百十六條ノ催告ヲ爲スコトヲ得ヘシ故ニ其過失ノ責任ニ付セルモノモ敢テ酷ニ失スルモノト謂フコトヲ得サルナリ

第二百十九條

第二項末文ハ無能力者ヲ保護スル爲メノ規定ニシテ説明ノ必要ヲ見サルナリ

(理由) 單獨行為ニ付テハ本條ニ掲タル條件ノ具備スル場合ニ外代理權ヲ認メサルヲ以テ原則ト爲スヘキコトハ已ニ第一百四條ノ説明中ニ述タルヲ以テ茲ニ再ヒ之ヲ論セス本條末文ノ規定

ハ例ヘハ辨濟受領ノ權限ヲ有セサル者ニ辨濟ヲ爲シタル如キ場合四八七財四五〇ニ適用スヘキモノニシテ本文中ニ包含セサルヲ以テ之ヲ加ヘナリ